

令和7年度 林業普及週間現地情報

森林管理課

令和7年度県職員樹木研修

令和7年8月12日(火)

森林・林業に関する業務において重要となる樹木判別能力向上を図るため、令和7年8月12日に末吉公園にて県職員樹木研修を行った。

本研修では、講師となる県職員2名の協力のもと、森林管理課、南部林業事務所、北部農林水産振興センター森林整備保全課から計8名の県職員が受講者として参加し、樹木の判別を実践しながら学んだ。

はじめに、沖縄には国頭マージ、島尻マージ、ジャーガルの性質の異なる3種類の土壌が分布していること、酸性土壌、石灰岩土壌で植生に違いがあることを学び、2班に分かれて公園内を散策。業務上重要となるフクギ、テリハボク等の造林樹種やクロヨナ、タコノキ等の治山樹種、土壌の性質等を判断するのに役立つ指標植物等の特徴を幹や葉に触れながら覚えた。

実物は図鑑や写真で見ると印象が異なるものが多く、葉の大きさが2倍以上違うのに同種だったり、似た形をしているのに別種の樹木だったり、講師から説明されるたび受講者からは驚きの声が上がった。

様々な環境下の樹木を見ることによって樹木判別能力の向上が図られるので、季節や場所を変え研修を続けていきたい。



(報告者：北部農林水産振興センター 田口、加藤、西岡、國吉)